

2025（令和7）年 7月22日

内閣府特命担当大臣（こども政策）

三原 じゅん子 様

2026（令和8）年度

こども家庭庁

障害児の福祉関係予算等に関する要望

一般社団法人 日本自閉症協会

会長 市川 宏伸

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-22

築地ニッコンビル 6 階

TEL03-3545-3380

asj@autism.or.jp（担当 樋口）

私たちの基本的お願い

自閉スペクトラム症（以下、自閉症）のこどもを含めたすべてのこどもの幸福（Well-being）を実現するために以下をお願いします。

1. こどもが「いま」を幸福と感じられる支援をお願いします。
 - ・ 将来のためという理由で障害特性に合わない指導を受けているこどもがいます。
 - ・ 自閉症などの特性のために集団適応が苦手なこどもが多くいます。
 - ・ 集団適応や普通を目指すより、こどもの今が幸福であることを目指してください。
2. 保護者支援をお願いします。
 - ・ 自閉症は生来の脳の機能障害であるにもかかわらず、母親の育て方のせいとされてきた過去があります。
 - ・ 現在はそのような誤解は減っていますが、自閉症のこどものように平均的なこどもと異なる行動をとると、日本の社会では今でも母親の責任にされがちです。
 - ・ 母親への要求水準が高く、一部の母親は自責的になり疲弊します。
 - ・ 現在でも母親の「愛着の問題」とか、「母がスマホを見ているから」などと、自閉症の子の保護者は批判の対象になりがちです。
 - ・ 自閉症についての正しい知識の啓発とともに、保護者の支援をお願いします。
3. 自閉症児についても保育所、放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）などの一般の施策を活用できるように、保育所等訪問支援を強化するとともに、保育所の保育士等の自閉症の理解の推進をお願いします。

要望事項

1. 強度行動障害

強度行動障害への支援を抜本的に強化してください。

- ① 発症予防の推進：強度行動障害のハイリスク児や初期兆候を明らかにし、発症ならびに重篤化を防ぐ方法を確立し、その検討結果を、家庭、学校、支援施設等の現場に浸透させてください。
- ② 在宅の自閉スペクトラム症（以下 自閉症）児で強度行動障害状態が深刻で現在の生活を継続することが困難な場合の回復のために、また、保護者のレスパイトのために、ミドルステイを受け入れる施設を増やしてください。
- ③ 強度行動障害児の状態改善のために児童入所施設の機能が活用されるようにしてください。あわせて、支援者のメンタルケアの施策をお願いします。

2. 乳幼児健診とフォロー

- ① 新たに助成される 5 歳児健診については、発達障害が意識されていることから
 - a. ラベリングにならないよう、真にこどものため親のための健診にしてください。
 - b. 健診後のフォロー体制として、親に子育てのための適切な助言を行う仕組みとその人材を整備してください。
- ② 現行の 1 歳半健診や 3 歳児健診においても発達障害の視点を入れてください。かつ、健診後のフォローの担い手を明確にしてください。（保健師か、こども園かなど）
- ③ 健診および健診後のフォローのために、自閉症をふくむ発達障害のわかる医師、心理、ST や OT などの専門家の配置を可能とする予算措置をしてください。（とくに 5 歳児健診については）
- ④ 幼児期は診断による支援が始まるとは限らないため、未診断児も対象にしたポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目のない、漏れのない対応を目指してください。

3. 相談体制

親が子育てについて相談できる体制を強化してください。

4. 支援人材確保

福祉の人材確保のため量と質の両面の施策をお願いします。

- ① 国が率先して福祉の仕事の魅力を伝えとともに、経済的にも遜色のないレベルにしてください。
- ② 研修体制の強化を進めてください。

5. 連携推進

- ① トライアングルプロジェクトを推進してください。こども部門と福祉部門、教育部門、保護者との連携を強化し、個々の児童の支援における関係者間の一貫性を確保してください。
- ③ 児童発達支援センター、こども家庭センター、児童家庭支援センター、保健所の連携をはかってください。

6. 外部評価

障害児支援施設の支援の質の向上のために外部評価を導入してください。

7. 障害児通所支援サービスの受給者証

行政窓口における受給者証判定方法を改善し、発行支給日数の地域差を少なくしてください。

（背景）現在の判定は 5 領域 20 項目で医学・個人モデルになっています。生物・社会・心理モデルを導入し、保護者の支援にも利するものにする必要があります。

8. インクルージョン

通常の保育園、こども園において自閉症児の支援を強化してください。

9. 児童発達支援センター（児発センター）、放課後等デイサービス（放デイ）

- ① 児発センターが適切に機能するように体制を強化してください。
- ② ①のために外部評価の導入を推奨してください。
- ③ 児童発達支援と放デイのスタッフの専門性を強化してください。
- ④ 親が児童発達支援、放デイを適切に選択できるよう、親へ効果的な情報提供を行ってください。
（背景）一部大手業者のサイトを頼りにしている親が多い。誇大広告が散見され、チェックが必要。

10. 災害対策

災害前の予防教育と発災時の緊急時対応を推進してください。

- ① 避難所に入れない発達障害児のためのケアをしてください。（避難所における障害理解、トレーラーハウスなど避難所以外の個別の避難場所の確保）
- ② 災害後には、長期にわたる親子と支援者のメンタルケアをしてください
- ③ 障害児施設の事業継続計画（BCP）の作成を推進してください。

以上